



地域おこし協力隊 佐藤幸治さん任期満了で退任

「これからも市内の面白いモノ・人・企業を応援したい——」

地域おこし協力隊（食の黄金文化・奥州輝かせ隊）として活躍してきた佐藤幸治さんが3年の任期を満了し、1月末で退任しました。

江刺出身で高校卒業後は県外へ進学、就職していましたが、地域おこし協力隊就任を機にUターン。県外にいる間も地元の駅伝大会のために帰省するほど、地元江刺に愛着を持っていました。

任期中は、市内の農業団体などと積極的に関わり、農産物加工の手伝いやアドバイスを行ったほか、昨年12月に退任した高橋史江さんと共に市の食と農のPRを行ってきました。

その中でも力を入れたのは、農家民宿の推進でした。農家民宿を運営している農家などで構成する「Farm Stayいわて奥州」に参加。メンバーと共に農家民宿を盛り上げるための研修や企画立案、フェイスブック開設などを行い、農家民宿の盛り上げに奔走しました。退任後も同団体の一員として活動し、「グリーン・ツーリズムとは違ったターゲット・形で奥州の農村体験を伝えたい」と決意を新たにしています。

また、昨年7月には「夢楽のパン工房 Yadorigi」をオープン。材料には県・市産を使い、製造過程では(株)及富の南部鉄器を、陳列棚には(株)

岩谷堂タンス製作所が協力した漆塗りの棚を使用しています。店内では市内の農産加工品も販売しており、今後も、店舗を活用して地域食材のPRや夢を応援するシェアキッチンなど、さまざまな角度から市民を応援する計画を立てています。

一度、市外で生活したからこそ見えたものもあり、「市内には、紹介しきれないほどのたくさんの面白いモノ・人・企業がありました」と振り返る幸治さん。「市の外だけじゃなく、市内にも、もっと目を向けて欲しいですね。そのために自分ができることは、協力していきたいです」と力強く語ってくれました。



夢楽のパン工房 Yadorigi
営業時間 月～金 12:00～17:30
水沢大鐘町一丁目3-2 ☎ 47-4040

2022 第6回スポニチいわて奥州きらめきマラソン KIRAMEKI MARATHON

ランナーのエントリーは、お早めに!!

安全ピンの寄付にご協力を

きらめきマラソンではSDGsの取り組みの一つとして、ランナーがゼッケンを衣服につける際に必要となる「安全ピン」のご寄付を募っています。

ご家庭や職場に眠っている安全ピン4本を1組とし、きらめきマラソン実行委員会事務局にお寄せください。安全への願いを込めた安全ピンとして会場でランナーに無料配布します。

奥州市版SDGs 12「丸ごと余さず使うまちづくり」の指標に基づき取り組みます。大会開催時にランナーが使用する安全ピン全てを供給することが目標です。

- ▶安全ピンの大きさ 長さ 24～38 mm
- ▶素材 スチール製、真ちゅう製など素材は問いません
- ▶寄付の方法 直接、または郵送



大会公式ホームページ▶



■問い合わせ・送付先
いわて奥州きらめきマラソン実行委員会事務局
(江刺総合支所・本庁生涯学習スポーツ課内、〒023-1192 ※住所記載不要、☎ 34-2498)

We support the iLC
希望のひかり
第99回
国際リニアコリアイダー（I-LC）計画の各種最新情報をお届けします

有識者会議が開催されました
1月20日、文部科学省による「I-LCに関する有識者会議（第2期第6回）」が開催されました。

第2期有識者会議は、文部科学省が昨年6月に「I-LC準備研究所提案書」と「I-LC計画に関する主な課題について」が公表されたことを受けて、設置したものです。これまで指摘されているI-LCの諸課題の進捗などについて、専門的見地から議論を行い、最新の情報を整理することを目的としています。

今回の会議では、これまでの会議で交わされてきた意見がまとめられ、素粒子物理学、



広瀬小学校での出前授業の様子

加速器科学分野での日本の高い発信力や今後も世界をリードする研究成果の創出が期待されていることが確認されました。一方で、I-LC計画をさらに進めていくための課題も指摘され、今後はそれらを解決していくための議論や計画に対する理解を得られるような双方方向の情報交換が重要とされました。

同日、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、I-LC出前授業を広瀬小学校で行いました。出前授業では、5・6年生の児童14人に対し、市I-LC推進室職員が「I-LCについて」と題した授業を行いました。

【市ホームページ】
【I-LC紹介動画】

行いました。I-LCは、実現すれば地域の将来に大きな発展的变化をもたらすものです。地域としてどう受け入れていくか、そうした地域社会でどう活躍していくかを考え、将来に向けた準備をすることが大切であることを児童へ伝えました。

I-LC出前授業は、将来社会の中心を担う児童・生徒に、▽科学に対する関心を高めること、▽将来の進路選択の視野拡大の一助にすること——などを目的として開催しています。

市では、来年度もI-LC出前授業を実施し、児童・生徒へのI-LCの認知・理解促進に努めていきたいと考えています。また、自治会などを対象とした「I-LC講座」にも対応しますので、興味のある団体はぜひ、I-LC推進室へお問い合わせください。

おうしゅう 羅針盤
少しずつ日脚が伸び、春の訪れを感じる季節となりましたが、いかがが過ぎでしょうか。

1月9日、市成人式に出席しました。新型コロナウイルスの影響で、昨年度はウェブ配信での実施となりましたが、2年ぶりに新成人が一堂に会しました。今年は「縁」をテーマに開催されましたが、新成人の皆さんには、ご家族や周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、自分の夢や目標の実現に向けて、今後の人生を歩んでいただければと思います。

1月1日、水沢42歳厄年連「翔西陣」の総会に出席しました。今年の日高火防祭も、残念ながら中止となりますが、4月30日に代替イベントの実施が決定しています。例年とは異なる状況ですが、会員同士の絆を深め、さまざまな活

動を通じてまちを盛り上げていただきたいと思います。

1月14日、「おうしゅう企業立地セミナー」を開催しました。ウェブ配信形式で参加した全国の企業に、県南地域が自動車・半導体関連産業の集積地であり、市においても新工業団地の整備を進めていることや、企業誘致に関する施策などについて説明を行いました。今後も、関係機関と連携しながら、企業の誘致や経営力の強化に取り組んでまいります。

1月12日、地域おこし協力隊の活動報告会を実施し、昨年退任の高橋史江さん、1月末退任の佐藤幸治さんから、これまでの活動が報告されました。3年間の活動の中で、市内の農家や高校生との交流、各種イベントの開催支援、新商品の開発に積極的に関わるなど、食や農の情報発信や6次産業の活性化に取り組んでいただきました。退任後も、新たな視点で市の魅力を掘り起こしていただければと思います。

奥州市長 小沢昌記